

# 文化複合施設整備についての提言書

平成27年12月22日

新宮市文化複合施設基本設計等検討委員会

## 1. はじめに

本年3月に、市では新宮市文化複合施設建築設計者選定プロポーザルにより、新宮市文化複合施設（以下「施設」という。）を設計する業者が新宮市文化複合施設基本設計及び実施設計等業務山下・金嶋共同企業体（以下「設計者」という。）に選定されました。

5月には、基本設計に関する諸課題について整合性を検討し、設計者の意向に市民の意見を取り入れて基本設計をより豊かにするために、新宮市文化複合施設基本設計等検討委員会（以下「委員会」という。）が設置されました。

平成23年に策定された新宮市文化複合施設基本計画（以下「基本計画」という。）を基に、市から示された本体工事費48億円で施設の延べ面積8000㎡～10000㎡という条件を遵守する方向で8回の会議を開催し、検討を重ねました。

また、設計者が主体的に行った新宮市文化複合施設基本設計検討ワークショップでの意見をも参考にしながら施設配置や平面計画等の検討を行いました。

上記の経過により設計者が当初のプロポーザル案に修正を加えたものについて、委員会として検討した結果、以下のとおり提言します。

設計を進めるにあたり本提言を可能な限り取り入れながら、後世に誇れる施設となるよう望みます。

## 2. 施設配置案について

設計者から提示された施設配置案は、基本計画に記載されている配置計画検討案とは異なる3棟案となっており、配置案から協議を行いました。

3棟案の利点として、図書館棟と熊野学棟は準耐火構造による建設が可能となりイニシャルコストを抑えられることや、棟ごとに開館運用できることによるランニングコストの低減につながるとの説明が設計者からありました。

また、現市民会館敷地周辺が八幡神社や広小路があったという歴史的な経過を踏まえ、その場所へ熊野学棟を整備するほうが望ましいのではとの説明を受けました。

よって、最終的に設計者から提示のあった3棟案が概ね妥当との判断としました。

イニシャルコストとは

⇒施設整備にかかる建設費用などの初期投資にかかる費用

ランニングコストとは

⇒施設運用にかかる光熱水費や設備機器の保守点検費用など、施設を維持・運用していくための費用

### 3. 平面計画及び施設面積について

本体工事費48億円という条件のなかで、いかに来訪者が親しみやすい施設にしていくか協議を重ねた結果、最終的に設計者がまとめた別紙の「参考平面図」を基本的に了とします。

各棟の面積は以下のとおりでありました。

1. ホール棟	4625 m <sup>2</sup>	大ホール席数	1120 席
		小ホール面積約	321 m <sup>2</sup>
2. 図書館棟	2206 m <sup>2</sup>	(うち図書館部分 1461 m <sup>2</sup> 、共用部分 745 m <sup>2</sup> )	
3. 熊野学棟	1354 m <sup>2</sup>		
4. 渡り廊下等	72 m <sup>2</sup>		
総面積	8257 m <sup>2</sup>		

### 4. ホール棟について

大ホールの席数については、現市民会館が1010席で、基本計画では最大1100席となっています。新宮市がこの地方の中核市であることや将来的な人口減を見据えた場合、どの程度の席数が望ましいかについて協議を重ねました。市からの所与の条件も鑑み、また設計者から提案された立見席も消防法等

をクリアできるとの説明を受け、最終的に1120席（座席数1012席、立見席108席）が席数として適切であると判断しました。

また、大ホールの照明設備や空調設備を工夫することによって300席や700席程度で多様な活用が可能となっており、維持管理費の低減につながる仕様となっています。

小ホールについては、300人程度のイベント等に対応できる広さで、ホワイエと一体的に利用することが可能となる仕様とし、美術展等のギャラリー機能も確保するものとしています。

スタジオについては、リハーサル室機能やバンド・合唱等の練習に利用できるように配慮しています。

ホール棟全体の施設機能については、概ね了と判断しました。

## 5. 図書館棟について

基本計画に謳われているように、幅広い世代が気軽に利用でき、また長時間利用者や観光客も対象とした、滞在・観光型の図書館として検討を進めました。

蔵書については約20万冊を収納できるスペースを確保し、1階部分には複合施設の管理運営を束ねる総合事務室や、当施設の多様なサポーターが利用できるボランティア室、また多目的室や研修室等の市民が交流できる共同利用のスペースを配置しています。

和室については、イベント等の際に託児室的利用も考慮するなど、多様な利用ができるよう可能な限り広さを確保するのが良いと考えます。

2階の開架スペースについては、子どもや高齢者が安心して利用できるよう最大限安全性に配慮しながら熊野川が見渡せる眺望を生かした空間とし、市民が集える設計を望みます。

カフェについては、その設置場所や、有効性・採算性の観点から厨房を備えたカフェとするか自動販売機のみを設置とするか、様々な議論を重ねました。今後の実施設計等のなかで、運用面・採算面も踏まえたうえでカフェのあり方等について検討することを求めます。

## 6. 熊野学棟について

熊野に関する資料の収集・保存・研究、及び情報発信する熊野学研究施設としての機能を重視した施設配置を検討しました。

また、熊野ひろばを設けることにより正面性を確保し、さらに屋外と屋内空間の一体性を担保し、地域交流に活用できる熊野学棟のあり方についても議論を行いました。

熊野学アーカイブは、熊野学棟の2階に配置することにより図書館との連携性・一体性が図られる配置としました。

市の方針として国宝・重要文化財の収蔵・展示に対応するものではないと示されています。それを踏まえ、主として一般文化財の常設展示・特別企画展示を行える施設機能を備えることとしています。さらに、研究に必要な諸室や一般収蔵庫の面積を可能な限り広く確保しました。

展示機能についてはデジタルアーカイブを取り入れるなど、来訪者・観光客への情報発信機能の充実を期待します。

以上、熊野学棟については熱心で多様な議論がありましたが、特に運用面を考慮した配置案としました。

## 7. 駐車場について

周辺環境へ配慮して高さを抑えた駐車場とし、駐車台数については周辺道路の混雑状況を考慮して決めていくのが望ましいと考えます。

とりわけ、周辺地域の住民に対しての丁寧な説明・協議を求めます。

## 8. 最後に

委員会では、限られた時間・日数で全8回にわたり熱心に議論を行い、様々な討議を積み重ねてきました。

そのようななか、市及び設計者の真摯な対応もいただき、最終的に本提言書をまとめるに至りました。

市においては、本提言書を受けて早期に基本設計案を確定し、最大限に提言の趣旨を実施設計に反映されるよう求めます。また、管理運営計画の策定等を

進めるにあたっては、市民と行政等の協働の取り組みをさらに推進し、市民の意見を取り入れることを強く希望します。

設計者にあっては、委員会の様々な意見を受け施設構成を幾度となく検討・修正いただいたことを感謝するとともに、今後実施設計を進めるにあたっては、本提言書を踏まえて運用面の使い勝手をよりよく考慮して設計を進められるよう求めます。

## 参考

### 1. 新宮市文化複合施設基本設計等検討委員会の開催状況

回	開催年月日	主な内容
第1回	平成27年5月28日	プロポーザル提案内容の説明
第2回	平成27年7月13日	分棟案について 施設の全体構成配置案について
第3回	平成27年7月30日	配置・平面計画について
第4回	平成27年8月21日	配置・平面計画について (主に3棟案、2棟案について)
第5回	平成27年9月7日	平面計画について (主に図書館棟・熊野学棟について)
第6回	平成27年10月7日	平面計画について
第7回	平成27年11月12日	平面計画について(主にホール棟について) 熊野学棟の展示事業の企画例について
第8回	平成27年12月22日	提言書について

### 2. 新宮市文化複合施設基本設計検討ワークショップの開催状況

回	開催年月日	主な内容
第1回	平成27年6月28日	プロポーザル最優秀者の計画案の説明
第2回	平成27年7月26日	熊野学センターについて考える
第3回	平成27年8月23日	施設の全体構成と図書館の魅力づくりを考える
第4回	平成27年9月27日	新しくできる文化ホールを使い倒そう！
第5回	平成27年10月4日	施設とまちの関係を考える
第6回	平成27年11月29日	基本設計案を考える

### 3. 新宮市文化複合施設基本設計等検討委員会 委員名簿

	氏 名	備 考
1	堀内 秀雄	学識経験者（和歌山大学名誉教授）
2	関 康之	有識者（新宮商工会議所会頭） ※
3	川口 幸三	有識者（元和歌山県立紀南図書館館長） ※
4	船上 光次	有識者（新宮市立図書館館長）
5	山本 殖生	有識者（熊野歴史研究会事務局長） ※
6	高 由香	有識者（おやこ劇場事務局） ※
7	榎本 義清	有識者（新宮市町内会長連絡協議会会長） ※
8	丹羽 生	有識者（新宮市観光協会会長）
9	勢古 啓子	有識者（商店街振興組合副理事長）
10	向井 雅男	行政（新宮市企画政策部長）
11	上路 拓司	行政（新宮市総務部長）
12	片山 道弘	行政（新宮市教育部長）

「※」は元基本計画策定委員会委員

床面積表 (単位：㎡)

	ホール棟	図書館棟		熊野学棟	渡り廊下等
		図書館	共用部		
1階	3,110	220	745	929	38
2階	990	1,241	0	425	34
3階	397	-	-	-	-
3階上部	128	-	-	-	-
小計	4,625	1,461	745	1,354	72
計		8,257			







